

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	あん摩応用実習			担当教員	金子 尚史		
授業の方法	実 技			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	<p>身体の変調を東西医学の考え方、身体の構造と機能などを理解した上で行う精度の高い手技療法の応用技術を習得する。(関節を動かす・筋肉を弛める、締めるなど) 施術部位の状態、病態、を明らかにし、適応・禁忌の判断、経過および予後の推定を行う。 生体に対するの刺激量、施術部位、患者の状態などを考慮し施術を行える能力をつける。</p>						
授業の到達目標	<p>I. プロフェッショナリズム 1. 他者を思いやり尊重する態度 2. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 3. 自己点検・自己評価および「自己研鑽に努める態度」 II. 医学的知識 III. 基本的臨床能力 IV. コミュニケーション 4. リスク管理 5. あま指の各手技を安全かつ適切に施す能力 1. 身だしなみ・礼儀やマナー 2. 聴く・観る・書く・伝える 3. 患者やその患者に対するホスピタリティと共感的態度 4. 他者と良好な関係を構築できる能力</p>						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術応用例・全身への運動法紹介		1	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 ・全身への施術(伏、側、仰臥位)・運動法(頸部)		
	2	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(側臥位)・運動法(上肢帯)		2	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 ・全身への施術(伏、側、仰臥位)・運動法(頸部)		
	3	応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(側臥位)・運動法(上肢帯)		3	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 ・全身への施術(伏、側、仰臥位)・運動法(頸部)		
	4	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(側臥位)・運動法(上肢帯・頸部)		4	・あん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の全身施術法		
	5	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(側臥位)・運動法(上肢帯・頸部)		5	・あん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の全身施術法		
	6	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(伏臥位)・運動法(上肢帯・脊柱)		6	・あん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の全身施術法		
	7	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(伏臥位)・運動法(上肢帯・脊柱)		7	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 概要		
	8	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(伏臥位→側臥位)・運動法(下肢)		8	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 首		
	9	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(伏臥位→側臥位)・運動法(下肢)		9	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 肩		
	10	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・各部への施術(伏臥位→側臥位)・運動法(下肢)		10	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 肘手		
	11	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(仰臥位)・運動法(上肢)		11	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 腰		
	12	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(仰臥位)・運動法(上肢)		12	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 股		
	13	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(仰臥位)・運動法(下肢)		13	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 膝		
	14	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(仰臥位)・運動法(下肢)		14	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 足		
15	あん摩応用実習/基礎確認と応用法 臨床応用の練習 ・身体各部への施術(仰臥位)・運動法(上・下肢)		15	・主要症候に対するあん摩基本手技の応用 主に運動器症状に対するあん摩療法の施術法 他			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	各期末試験(前期・後期)40% 出席点20%の割合で評価			実務経歴	教員歴24年 臨床歴25年		
履修上の注意	実際に施術を行う際の被験者に対するの対応や、与えられた時間内で施術を行える技術を習得できる様、緊張感を持って臨んでください。			授業時間外の学習	1年次の復習、授業内容の復習などに努めること。		
使用教材	東洋療法学校協会 「あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉」 「東洋医学臨床論」 運動法テキスト			連絡先	水曜日に職員室まで質問にきてください。		